

# 石クリ通信

## 7月号

老年泌尿器科学会 院長 石川 悟

6月14日、15日と休診して旭川の学会に行つて来ました。旭川は30年ぶりの訪問でしたが、繁華街や買物公園と呼ばれる歩行者専用の通りも、以前より活気がなくなった感じでした。タクシーの運転手さんの話を聞いても、空家になつていいる店舗が多い由。日立市ばかりでなく、地方都市全体が高齢化や人口減少、経済停滞の影響を受けているのかも知れません。

学会では目を見張るような画期的な診断法・治療法の発表は残念ながらありませんでしたが、医師だけでなく、看護師・薬剤師・理学療法士などが協力して、泌尿器科患者の治療における問題の解決に努力している姿が見られました。旭山動物園坂東園長の「伝えるのは命、繋ぐのは命」という特別講演は、動物園は珍しい動物を見るものだと今までの概念とは違つて、動物たちの能力の素晴らしさや、地球の環境問題と動物の生きざまが関わつていることが大切という話で、感銘を受けました。

懇親会では、旧知の下クターたちと情報交換をし、おいしい食事とお酒で、楽しい時間を過ごしました。ほとんど観光はできませんでしたが、日常から抜け出して、自分の精神をリセットできた旅行でした。

友人と一緒に 看護助手 柴田 さち子

友人と一緒に群馬に一泊旅行に行きました。一日目は温泉に入りにくい食事を頂きました。二日目は東洋のナイアガラと呼ばれる吹割の滝へ。森林の綺麗な山々に囲まれた吊橋を渡り、高台から見る滝は見事でした。高さ七メートル、幅三十メートルもあります。今回は水が多かったので、とても迫力がありました。山道を歩くと、水の音、風の音が聞こえます。山道を一周するルートは、急な上り坂や三百段以上ある階段、山道の段差があり、最後には膝がガクガクになりながら駐車場に着き、急な階段や上り坂がキツかったけれども、楽しい旅行でした。

夢のオリンピックその後 看護師 澤田 彰子

東京オリンピックチケット抽選ダメでした！上限の30枚まで申し込みをしたのに全滅でした。単純な私はチケット全てが当選したら結構な額になるので7月2日までどうやって振り込みしようかなあ...とまで考えていたのにそんな心配は無用でした。仕方がないのでオリンピックに行つたつもりで、臨場感のある8Kの大型テレビを買って、家でゆっくり観戦したいと思います。

アイヌ 事務局長 石川 都

せっかく旭川まで行つたので、以前から興味があったアイヌの歴史と文化を学びに、旭川市博物館まで出かけたが、実際に展示を回ると、これまでのアイヌのイメージがかなり覆された。アイヌの人々は北海道ばかりでなく、樺太から千島、カムチャツカにもいて、東北などで和人と戦つたばかりでなく、中国の元とも戦つていた。また狩猟採集民と言われるアイヌだが、農耕や漁業さらに馬やトナカイなどの牧畜も言つており、その意味でアイヌは、海を越えて広く交易も海洋の民であった。さらにアイヌは居住地域により名前も異なり、衣類や暮らしの品々も、その気候と風土によってかなりバラエティに富んでいたことが、展示から理解できた。一言でいうと、アイヌ文化とは、神(カムイ)である自然との共生の歴史である。家の中から森や海まで、世界の森羅万象の中に神がいる。人々は神の化身である動物たちから毛皮や肉を、木や植物から皮や実をもらい、その返礼として酒や木幣を捧げ、感謝し祈る。アイヌにとつての神とは超越した絶対者ではなく、この世で共に生きる存在なのである。有名なイヨマシテも、冬眠中の母熊の狩りの際に子熊を連れ帰り、大切に育てて翌年神のもとへ帰す魂送りの儀式のことである。北海道の地名はアイヌ語に由来するものも多い。「ベツ」や「ナイ」は川のことで、札幌はサツ・ポロ・ペ(豊平川)、旭川はチユブ・ペツ(東の川で音訳は忠別川)から来てゐる。またアイヌは絵や人形も魂が宿るとして畏れ遠ざけたため、有名なアイヌ文様には、渦巻きや棘、十字、網目などの抽象的幾何学文様が多い。その文様も居住地域によつて異なり、文様をみると種族がわかるという。文字を持たないアイヌの口承による神々の物語(カムイユカラ)は私の青春の一冊であり、それをまとめたアイヌの少女、知里幸恵の詩は今も美しい。「梟の神の歌...銀の滴降る降るまわりに...金の滴降る降るまわりに...」

我が家のペット 看護師 太田 小百合

夫婦は「似た者夫婦」と言われるようになることもありませぬね。長年連れ添つていっていると、考えていることだけでなく、体型や容姿までがそっくりになってしまふこともあるようです。実はそれは、人間同士だけでなく、猫と飼い主にも起こることだそうなんです。猫がすつと一緒に過ごしていること、育て方や生活週間、性格などが影響して、猫が飼い主に似ることがあるようです。長年一緒にいる似た者夫婦と同じで、猫と飼い主にも深い信頼関係があると言つて証でもありますよね。写真はうちの猫のレオ(2才・オス)リン(1才・メス)です。レオは人見知り抱っこが嫌い、リンは人懐っこくて甘えん坊、と正反対の性格な二匹です。なんとこの性格、私の長男、長女の性格にそっくりなんです。私の育て方と関係しているのでしょうかね。



初めての北海道 事務 上野 亜希

6月中旬に日本老年泌尿器科学会が北海道で行われ、人生初の北海道へ行って来ました。先生と看護師さんは学会でお勉強だったので、その他の職員は先生方へ便乗し、北海道の大自然を満喫して来ました。今回は全日お天気に恵まれ、最高の観光日和となりました。(晴れ女の柴田さんのおかげです。)観光組は事務の田所さんプロデュースと運転で、旭川・富良野・美瑛のお花畑やパワースポットに連れて行ってもらいました。先々とてもキレイで、沢山写真を撮りました。ただ唯一残念だったのは、時期が少々早くてラベンダーが咲いていなかったことでした(泣)。ラベンダーの事を除けば、宿泊したホテルはとてもオシャレで食事も美味しく、天気もよくて観光した先は素晴らしい、最高の北海道旅行でした！



北海道へ 事務 田所 弓佳

先日北海道で行われた学会に行つて来ました。事務の私は参加せずに観光でしたが(笑)。今回は旭川が学会会場の為近くの旭川周辺と富良野・美瑛方面を観光しました。たくさんどころを観光したので書きたいことがたくさんありますが、今回の旅行で感動したところを1つだけ紹介します。それは美瑛にある「青い池」です。ここは池一面が青色になっています。なぜ青色なのかというとアルミニウムなどの鉱物成分が水と混ざり合うとコロイドという目に見えない粒子になり、それに太陽光が当たつて人の目には青く見えるという仕組みになっています。このことです。なので手ですくつてみても透明な水みたくて不思議です。ここで見た景色はなんともいえない綺麗なもので驚きました。もし北海道に行つた際は見ていただきたい観光地の一つです。

